

市中心部に位置する鶴川地域に、人を呼び込むための拠点施設とチャレンジショップを整備。

拠点施設でのイベント開催や情報発信、商店街の空き家の利活用、新規出店者の支援等を行うことより、新たな賑わい創出を図る。



テレワーク施設 「観光・交流拠点施設（愛称：KITOWA）」 チャレンジショップ

取組内容（補助年度：令和4～6年度）

- 築120年の古民家を、交流ギャラリー・テレワークスペース・サテライトオフィス等を備えた拠点施設へと令和4年度に改修【交付金活用】
- 拠点施設に隣接して、飲食や物販の出店を促すためのチャレンジショップを令和4年度に新たに整備【市予算】
- 賑わい創出に向けたソフト事業を実施【交付金活用】
 - ・商店街の空き家・空き地調査とデータベース化
 - ・空き家活用スクール、鶴川空き家フェス（次ページ参照）
 - ・地域資源のデジタルコンテンツ化 など



ポイント

- 幅広いメンバーが参加するワーキンググループ（市、商工会議所、観光協会、ロングトレイル協会、国東半島をめぐる会、商店街等）で合意形成を図りながら、事業を進めた。
- 補助金活用にあたっては、総合的な地域振興施策とするべく、施設の改修費に加えて、実効性あるソフト事業を計画に盛り込んだ。

地域の声



人口が減る中で、自分たちのお店を守っていくためには、商店街が賑わうのが一番大事だと考えています。一人でも多くの方に知ってもらうため、色々な取り組みをしていきたいと思っています。

担当者の声



地元の方と若手飲食店経営者が、賑わいを創出するために連携する仕組みが生まれました。さらに、空き店舗で創業する人達が加わりつつあり、連携の輪を広げていきたいと思っています。

国東市 観光・地域産業創造課 担当者



成果・今後の展開

- 飲食店組合と鶴川活性化協議会（自治会等）とが連携し、拠点施設やチャレンジショップを活用して、年間を通じたイベントを開催する体制ができた。
- 空き家活用スクールや空き家フェス等を通じて賃貸可能な物件が商店街内に出てきたことで、チャレンジショップ入居者や移住者による新規出店の動きにつながってきている。

鶴川商店街の概況

市中心部に位置し、飲食店や宿泊施設など、約30店舗が営業。

